



第2回は、小学校は国語科、算数科、道徳科について、中学校は、各教科の授業づくりや道徳科について、学習指導要領に示されている目標や内容、見方・考え方を基に、どのような授業が求められるのかについて、各教科の特質に応じて考えました。また、学校事故における対応の基礎についても学びました。

校種共通 **【道徳科授業づくり】**

○研修に向けて

- ・教育実習を高校で行ったこともあり、道徳科の授業をほとんどしたことがないので不安です。
- ・道徳科は答えが無いのですごく難しいと思っています。何を言っても自分の意見を、子ども達に押し付けているように感じてしまいます。
- ・どうしても、教材を読み取らせようとしてしまうため、国語科のような授業になってしまいます。
- ・子ども達の本音を引き出したり、葛藤を生み出したりするためには、どのような発問をしたらよいのかを知りたいです。

○研修の振り返り

- ・答えが一つではない道徳的課題に対して、子ども達が自分の問題として捉え、生き方について考えを深めていくことが大切だとわかりました。
- ・道徳科の授業で中心発問をどう設定するのかいつも迷っていたので、心を問う発問を意識して考えていこうと思います。
- ・中心発問を考えるのが難しく、自分が講義中に考えた中心発問だと、教科書に書いてあることを読み取っただけの発言や、きれい事ばかりが出てきそうだと感じました。もっと学んでうまく中心発問をつくれるようになりたいと思います。
- ・教員の考えを熱く伝えなければ、と思っていましたが、子ども達が道徳的価値に自ら気付くきっかけを提供するというスタンスでよいということがわかりました。
- ・指導書には主発問や基本発問がすでに書かれているため、授業後のねらいに迫る子どもの姿から、主発問を何にするか考えるのは新鮮でした。教材を読んでいくと、生徒に考えてほしい箇所や、どのように感じたか聞いてみたい箇所がいくつかあり、基本発問の場面を選ぶことが、少し難しかったです。

【算数科授業づくり】

○研修に向けて

- 子どもによって学習の理解の程度が異なるため、どうすれば全員が充実感の得られる授業にしていけるかについて悩んでいます。
- 子ども達の意見をうまくまとめられない時があり、無理矢理まとめに繋げてしまうことがあります。意見交流の良い方法を知りたいです。

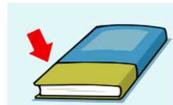
○研修の振り返り

- 自分なりに授業の場面を想定して発問や支援の手立てを考えることができました。他の方がどんな意見をもっているかがすごく楽しみです。
- 内容に系統性があることを知ったので、前後の学年でどのようなことを学習しているのかも踏まえた上で授業づくりを行っていきたいです。

考えてみましょう

「ごんぎつね」を通して、身に付けた力をどのように発揮させるか。

①帯文をつくろう



②「ごん」がどんなきつねか紹介しよう

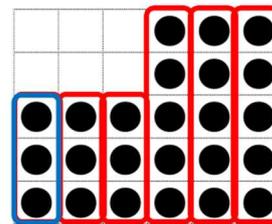


国語では、学習指導要領に基づいて授業をつくっていくことの大切さに気付いている振り返りがたくさんありました。

「数学的な見方・考え方」とは

＜数学的な見方＞

事象を数量や図形及びそれらの関係についての概念等に**着目して**その**特徴や本質**を捉えること



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
算数編 P.22,23

- まとまりに着目
- 数量関係に着目

算数では、系統性を意識することの大切さに気付いている振り返りや、授業展開の工夫についての振り返りがたくさんありました。

中学校 【国語科】

○研修に向けて

- 前回の講義で、ねらいを立ててから授業展開を考えるという授業構想の基本を学んだので、展開部の核となる効果的な発問や活動について学びたいです。

○研修の振り返り

- 中心人物の言葉や行動、心情がどのように表現されているかなど、「言葉」に着目させながら話し合い活動を行わせ、「言葉による見方、考え方」を育成することの重要性について理解できました。

【社会科】

○研修に向けて

- ・毎回ではありませんが、授業の中で子ども達が「なぜ？」と考える場面を設ける工夫はしています。しかし、どうしても教員が喋りすぎになってしまう場面があるため、いかに子ども達に「なぜ？」に気付かせることができるようになるかを、研修を通して学んでいきたいです。

○研修の振り返り

- ・「多面的・多角的に考察する」ことの意味や、授業の中で子ども達に考えさせたいこと、気付かせたいことを整理しておけば、評価をする際に役立つのではないかと気付くことができました。そのためには、個々の学習状況を把握する必要性があるため、タブレット等のICT機器を上手く活用したいです。

【数学科】

○研修に向けて

- ・授業をしていく上で、生徒への手立てを学びたいです。生徒のつまづくポイントをおさえて、授業の展開の部分ができているかどうか不安に思っています。

○研修の振り返り

- ・授業を行う際に生徒にどのように解いてほしいのか、ねらいをもって授業に臨んでいるが、子どもが実際にどう解くのかという想定が甘かったように感じました。

【理科】

○研修に向けて

- ・現状では、知識を一方的に伝達する授業に終わってしまっているため、どのように探究的で生徒主体の授業を展開するか、ヒントがほしいです。

○研修の振り返り

- ・今までは、中学3年間だけの繋がりしか意識できていなかったため、これからは小学校とのつながりを意識し、中学校理科の学習内容に発展させていきたいです。また、日常生活の自然事象について、生徒が理科の見方・考え方を働かせることができるように、日頃の授業で取り組んでいきたいです。

【音楽科】

○研修に向けて

- 歌唱において生徒が創意工夫し、音楽を創ろうと取り組む授業を作りたいです。
- なるべく生徒が音楽の背景を想像し、どのように創意工夫するかを考えるためのヒントを含めて指導していますが、私自身の伝えたい思いや感情に傾くと、自分の発言が多くなってしまいます。

○研修の振り返り

- 生徒が主体的に活動していく中で気づき、その気づきを基に創意工夫をしていけるような授業づくりが大切だと再認識できました。
- 「音楽的な見方・考え方」では、音や音楽に対して「音楽を形作っている要素」を捉え、自分の感情や生活・文化などと関連させるという点がとても参考になったので、生かしていきたいです。

【美術科】

○研修に向けて

- 美術は答えのないことが多い教科であり、評価の難しさを感じています。主観的な評価にならないために、3つの柱をしっかりと理解した上で、見るべきポイントなどを具体的に知りたいと感じました。

○研修の振り返り

- 「造形的な視点」とは良さや美しさなどの価値や心情を感じ取る力ということを改めて振り返ることができました。また、道徳の研修で、道徳の授業で身に付けさせたいのは「道徳心」であり、その道徳心とは美しいものを美しいと感じ、よいものをよいと思える心であると学んだので、美術と道徳は大きなつながりがあるのではないかと感じました。

【保健体育科】

○研修に向けて

- 授業の中でどのように生徒に学ばせるのか、どのような場面づくりを行うのかを学びたいです。また、授業を通して、体を動かす楽しさを学んだり、友達と協力したりする体験や経験を増やし、生徒の成長に繋げていくにはどのように取り組めばよいかを学びたいと思います。

○研修の振り返り

- これまでは、子どもがどのようにすればできるようになるのか、という視点でしか考えることができていなかったように感じました。この視点も大切ですが、知識・技能の観点に偏りがちなので、コツを見付けるということをめあてにすると、子ども達全員が同じめあてに向かって授業できると感じました。

【技術分野】

○研修に向けて

- ・技術科の見方・考え方、評価についてはまだまだ知識も経験も浅いため、この講義を大切にしたいです。また、数少ない授業数の中で、いかに充実した授業を行い、主体性を持たせながら生徒に大切な部分を伝えられるのかを考えたいです。

○研修の振り返り

- ・学習指導要領をよく読んでいたつもりでしたが、改めて講義を受けると、まだまだ足りないことを自覚しました。特に社会の要求に対して、自分の授業はその要求に応えているのだろうかと感じることがあるので、自分の授業に対する課題をしっかりと考えて改善に取り組んでいきたいです。

【家庭分野】

○研修に向けて

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、家庭科ではどのようなことができるのかを学びたいです。また、学習指導要領の内容に関しても理解を深めたいです。

○研修の振り返り

- ・家庭科の授業において主体的に学ぶということは、表面的な積極性ではなく、自ら問題を見出したり、見通しを持って解決に取り組んだり、それを振り返りながら新たな課題に取り組んでいくことだということがわかりました。

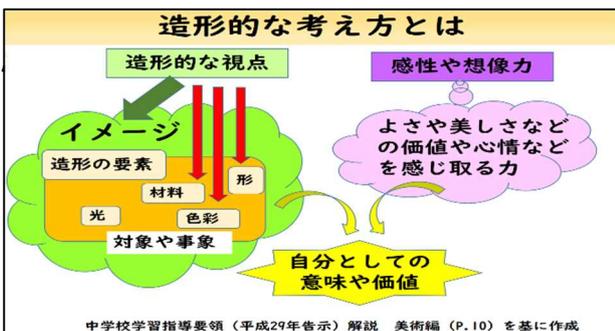
【外国語】

○研修に向けて

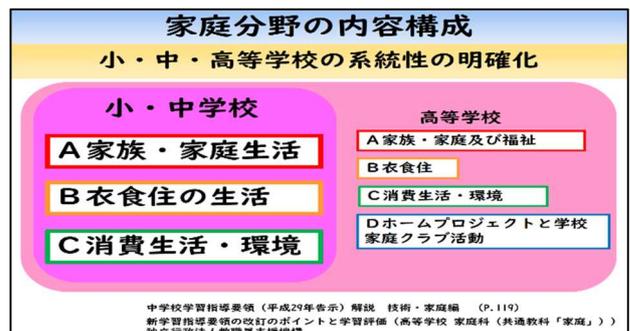
- ・対話を伴う言語活動を少しでも多く設定しようという意識はありますが、それが主体的・対話的で深い学びに結び付いているか不安に思っています。

○研修の振り返り

- ・自分の考えや気持ちを伝え合い、また相手のことを理解しようとすることも言語活動であることを理解できました。授業で学習した文法を使ってみたいと思わせる場を作ることが教員にとっての大きな役割であることを痛感したため、さらに生徒にとって有効な言語活動の充実を図っていきたいです。



美術科では、造形の要素について学び、第3回でさらに深めていきます。造形の要素の大切さに気付いている振り返りが多くありました。



家庭分野では、「生徒が主体的に学べる授業づくりをしたい」という内容の振り返りが多くありました。